

# 第63回 全大阪学年別珠算競技大会

令和2年2月2日(日)

大阪商業大学



No. 343

発行所

公益 全国珠算教育連盟

社団法人 大阪府支部

http://www.web-g.jp/osaka88/

E-mail [osaka88@web-g.jp](mailto:osaka88@web-g.jp)

〒552-0001

大阪市港区波除2-8-14

TEL 06-6583-6222

発行者 櫻井行雄

編集者 久手堅大成

印刷 広報部



令和2年2月2日(日)穏やかな天候にも恵まれ、大阪商業大学において、第63回全大阪学年別珠算競技大会が開催された。

今年度の出場選手は220名(小学2年生以下)の部19名・小学3年生の部31名・小学4年生の部45名・小学5年生の部38名・小学6年生の部43名・中学・高校生の部44名)で、昨年と同様、1会場で行なわれた。会場内は各部門の選手が一堂に会していることもあり中学生・高校生・競技大会常連の選手たちの行まいが、会場内に緊張感を与え、全体的に少し落ち着いた様相を呈していた。

大会を進行していき「(日)穏やかな天候にも恵まれ、大阪商業大学において、第63回全大阪学年別珠算競技大会が開催された。」と選手・保護者各位に説明をされた。また大会の歴史に触れられ「過去において全大阪学年別珠算競技大会は各地区の予選を勝ち抜いた選手たちによる決勝大会であった。だからこそ各部門の優勝者には誇りをもってもらいたい。今大会で、選手同士が珠算の技を競い合い、切磋琢磨することで、全珠連が主催する、夏の全日本珠算選手権大会・秋の全日本通信珠算競技大会においても好成績を収められる第一歩としてほしい。」と、選手を激励された。

山口大仁演技委員長より、競技上の諸注意等の説明の後、個人総合競技から開始された。競技会場内は、選手たちの熱気と緊迫感で2月の肌寒さを感じさせない雰囲気であった。個人総合競技終了後、昨年に続き、参加選手による交換採点が行われ、大きな混乱もなくスムーズに進行した。読上暗算競技では2桁10口加算から4桁7桁加算(26秒)までの15問が読み上げられ、小学校5年生の部では14問正解した草野咲果選手が優勝した。中学・高校生の部では、乾ほの香選手が優勝。小学6年生の部では12問正解で3名が決勝へ、3桁6桁加減算(26秒)を正解した信原真尋選手が接戦を制し、優勝を勝ち取った。

午後からの読上算競技では、2桁10口加算から7桁11桁加算(29秒)までの15問が読み上げられ、全問正解者が5名。小学4年生の部では中谷謙士朗選手、小学5年生の部では高見友梨選手がそれぞれ優勝の栄冠に輝いた。中学・高校生の部では3名での決勝が行なわれ、7桁11桁加算(31秒)に正解した乾ほの香選手が実力を見せつけ、読上暗算との2冠を達成した。

【2面へ続く】

第63回全大阪学年別珠算競技大会成績表



団体の部	
優勝	梶田珠算学院 6100点
準優勝	マルタそろばん教室 6030点
第2位	南港珠算教室 5950点



優勝 梶田珠算学院

準優勝 マルタそろばん教室

	個人総合競技		読上算競技	読上暗算競技
	優勝	準優勝		
小学2年生以下の部	田中 里奈 1190点 2年連続	澤井 真心 1030点	澤井 真心	田中 里奈
小学3年生の部	阪本 将清 1220点 3冠達成	山口 夏穂 1110点	阪本 将清	阪本 将清
小学4年生の部	中谷謙士朗 1400点 5年連続	山田 茉奈 1340点	中谷謙士朗	廣瀬 慧和
小学5年生の部	高見 友梨 1340点 3年連続	田中 智章 1290点	高見 友梨	草野 咲果
小学6年生の部	信原 真尋 1380点 2年連続	廣瀬 蒼和 1320点	廣瀬 蒼和	信原 真尋
中学・高校生生の部	東 剛也 1380点	千年原 朱 1380点	乾 ほの香	乾 ほの香

優勝おめでとうございます！



東 剛也



信原 真尋



高見 友梨



中谷謙士朗



阪本 将清



田中 里奈



今年度の個人総合競技においては、各部門で4名の選手が連覇を達成するなど上位陣が安定した実力を見せた結果となった。なかでも中谷謙士朗選手は初出場から5連覇の偉業を自身初の満点優勝をもって達成した。

表彰式終了後、油井弘支部参加がユーモアを交えた挨拶で選手の労をねぎらい、昨年の自身の講評を引き合いに出され、満点を獲得した中谷謙士朗選手、3冠を達成した阪本将清選手、各部門の優勝者に賛辞を送られた。

第63回全大阪学年別競技大会は、定刻通り無事に終了した。

(広報部)

令和元年度  
生徒作品入賞者

【作文の部】

〈最優秀賞〉

新海 美澄希

守口市立八雲中学校2年

〈優秀賞〉

藤田 知華

羽曳野市立白鳥小学校2年

橋田 侑弥

大阪市立古市小学校5年

〈審査員賞〉

萩野 太尊

門真市立四宮小学校5年

齊藤 咲里

大阪市立生野南小学校2年

【ポスターの部】

〈最優秀賞〉

白石 竜規

豊中市立豊島小学校1年

〈優秀賞〉

平井 祐人

大阪市立生野小学校4年

瓜本 智愛

豊中市立豊島北小学校6年

〈審査員賞〉

秦 義博

大阪府立淀川工科高等学校2年

新井 仁菜

門真市立第三中学校1年

ポスターの部・作文の部  
最優秀作品

最優秀賞

豊中市立豊島小学校1年

白石 竜規



『そろばんというもの』

守口市立八雲中学校2年

新海 美澄希

みんなそれぞれそろばんのイメージはちがうと思う。「計算に使う物」「はじくもの」とか。けれど、私には、そろばんは、そういうものではなく、「かけがえない思い出をくれる素晴らしい物」です。

そろばんと出会って約十年。本当にいろんなことがありました。試験に合格して喜んだり、大会で思うような結果がでず悔やんだこともありました。それでもやめないのはやっぱりそろばんが私の中ですごく大事なものだからです。

そろばんが私にくれたのはそれだけではない。私はそろばんを通してたくさんの人と出会いました。先生方ももちろん、他の学校の人も出会いました。きっとそろばんをやっていたら出会えなかった人達と今こうやって「そろばん」という輪でつながっていると考えるとやっぱり習ってよかったと思います。

そしてそろばんを通じての今年最大の思い出は「訪米使節団としてアメリカの子供達にそろばんを教えに行ったこと」です。最初は親とはなれて十日間もアメリカに行くのはすごく不安だったけれど、他県の人との交流や、アメリカの子供達との交流はすごく楽しくて本当に行ってよかったと思います。この思い出は確実に自分にプラスになりこれからの人生に役立つと思います。

私は今回、この作文を書いてそろばんの大切さを改めて感じる事ができました。この思いは大人になっても変わらないと思います。そろばんはいつまでも私の宝物です。十二月の競技大会も思いを力に変えて全力でとりくみ、これからもそろばんを続けて行きたいとおもいます。



瓜本 智愛

優秀賞



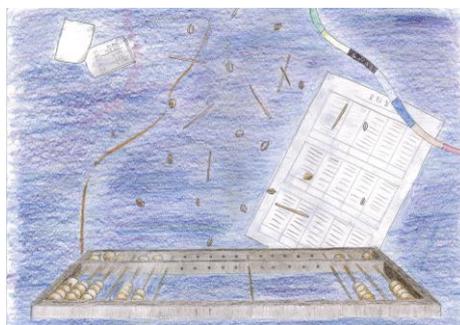
平井 祐人

優秀賞



新井 仁菜

審査員賞



秦 義博

審査員賞

生徒作品 総評

「作文」「ポスター」共に未就学児から高校生まで幅広い世代から多くの作品が寄せられました。ご協力いただき

私自身もつと成長せねばと奮い立たされました。来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。

(研修部長 新名哲也)

新春はじき初め大会

令和2年1月3日、冬晴れの空が美しく、少し暖かさも感じられる朝、日本三大祭りのひとつ天神祭で有名な大阪天満宮において、今年で37回目を迎える『新春はじき初め大会』が執り行われまし

会場は大いに盛り上がりました。神主のお祓いを受けた後、珠算上達や学力向上を祈願し、3桁5口の読上算に挑戦しました。初めて見る長いそろばんに笑みがこぼれながらも、真剣な表情でパチパチとそろばんをはじき、正解が読上げられると歓声を上げる子どもたちの姿を、参拝客も笑顔で見守っていました。

今年も、外国人珠算受講生による英語読上算が行なわれ、またタイ語・フランス語・中国語で数字の読上げが行なわれると参拝客も興味津々な面持ちで聞き入っていました。約800名が参加してくださり、大盛況に終わりました。(広報部)

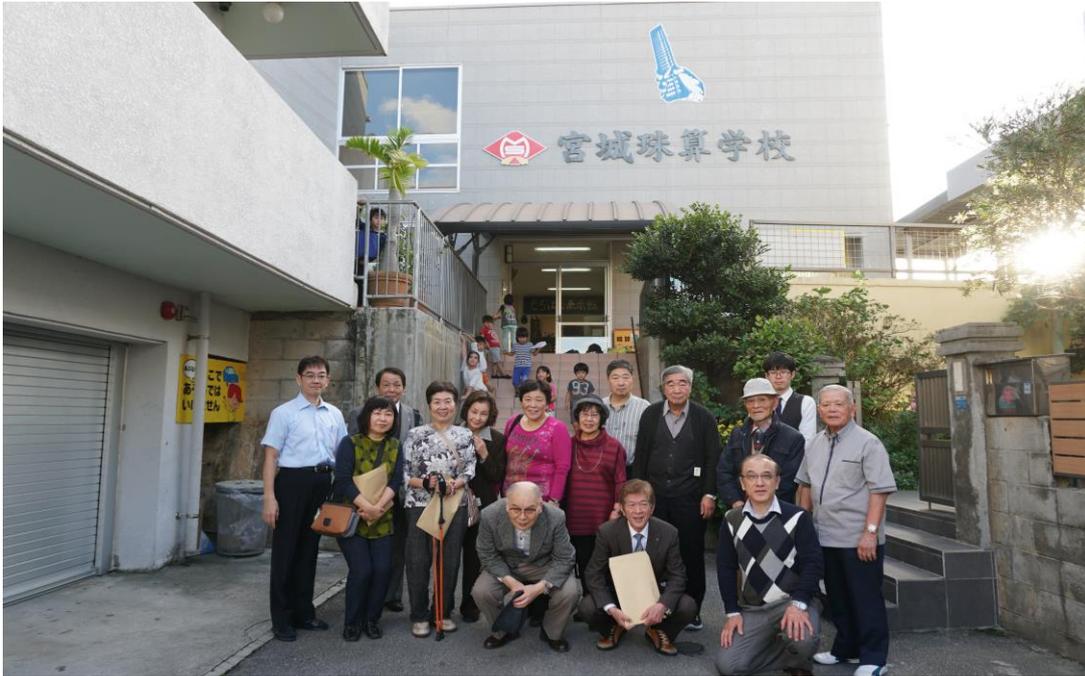


新型コロナウイルスに負けるな! 手洗い促進ポスター配布

新型コロナウイルスが世界的に流行し深刻な影響を及ぼすなか、感染防止にはまだまだ予断を許さない状況が続いています。連盟では皆さんの手洗い促進の一助とすべく、ポスターを作成しました。(全国珠算教育連盟本部 HP より抜粋) ポスターは、連盟本部HPよりダウンロードしてください。



# 支部そろばん研修旅行



令和元年12月25日(水)から2泊3日で沖縄県支部会員教場である宮城珠算学校の授業及び資料館見学を目的に研修が組まれた。もちろん、沖縄をたっぷり観光する旅行も取り入れた沖縄研修旅行である。

初日、午前10時に伊丹空港に集合、参加者14名全員が無事空港に到着。そして11時飛行機は沖縄に向かって飛び立った。

2時間のフライトで沖縄に到着。早速、研修旅行へと期待を膨らませるのだが、想像以上に沖縄が暑いのに気が付いた。もう汗だくである。クーラーの効いたバスでホッとしたのもつかの間、浦添市にある宮城珠算学校に到着。まず目を疑ったのが、玄関前の駐車場。何台もの車と小型バスが入れるように広々と駐車場がとられている。階段を上がり教室の中へ入っていくと、教室の奥に整然とそろばん

が並べられた資料館がある。大津そろばんや長崎そろばんなどの古のそろばんに伊勢百計算共興学舎で使用されたそろばん等、なかなか目にするのができないそろばんが整然と展示されている。また、帳場格子や両替天秤なども展示があり歴史を感じることができ。聞くと、そろばんをどう展示すれば一番良いのかを考えて、それから資料館の構図が決められそう。

しばらくすると外で子供たちの声が騒がしく聞こえてくる。ジュニア(4・5歳児)クラスの授業が始まる時間である。私たち一行は、授業が行われる教室に通されて見学をすることに。講師は宮城珠算学校の校長、宮城忍人先生である。十数人の子供たちを前に、宮城先生はマイクを片手にリズムをとりながら「9の友達は何?」とテンポよく声をかける。すると生徒たちは、あ

つという間にそろばんの世界に入り先生と一体になって声を出していく。声を発しそして自らの耳で覚えていく。覚えるための理想の方法であると感心していると、「そろばんになりたい人」?の声に「はい」と大きな声が響き、生徒5人が前に並んだ。何をするのかと思いきや生徒達は先生の読上げに合わせて、そろばん玉を思い浮かべながら座ったり立ったりと楽しく授業!楽しさありリズムありで、多くの示唆に富む授業を受け、感銘しながら宮城珠算学校を後にした。



翌日は観光で沖縄美ら海水族館に向かった。何度か来たが、いつ来ても清々しい気持ちになれる。当日は晴れ、澄み切った空気。そして青い海と緑の島。それだけで十分である。公園内をゆっくり散策した後、琉宮城蝶々園そしてさらに北部の古宇利島へ。透き通るようなライトブルーの海にかかる古宇利大橋を通って島の砂浜へ向かうと痛いほど暑い。もうすぐ1月というのに気温が27度上がった。真夏である。

3日目は南部の「みーばるビーチ」でグラスボートに乗船と十分に沖縄を堪能した後、午後2時の飛行機で、たくさん思い出と感動を胸にしまい大阪へと帰阪の途に就いた。

(上村 亘)

諸会議行事報告

〈常任委員・地区長合同会議〉

日程

令和2年1月13日

場所 大阪府支部2階

出席者数 24名

1. お年玉賀はがき抽選会

2. 本部・支部・近畿

ブロック・大阪連

合会・近畿連合会

状況報告

3. 第63回全大阪学年

別珠算競技大会の件

4. 第65回優秀生徒表

表彰典の件

5. 各執行部報告

6. その他

〈常任委員会〉

日程

令和2年2月24日

場所 大阪府支部2階

出席者数 18名

1. 本部・支部・近畿

ブロック・近畿連

合会・大阪連合会

状況報告

2. 令和2年度事業計

画案・予算案審議

の件

3. 第65回優秀生徒表

表彰典の件

4. 各執行部報告

5. その他

行事予定

4月26日

第396回検定試験

5月5日

近畿ブロック支部長会

近畿連合拡大委員会

5月17日

常任委員・地区長

合同会議

5月31日

第397回検定試験

6月21日

偶数月検定・理事会

7月12日

監査会

7月19日

第398回検定試験

7月26日

常任委員会

第396回珠算検定試験のお知らせ

★申込期日締切日

4月13日(月) 午前10時

★検定結果報告締切日

4月27日(月) 午前10時

★申込期日・検定結果報告は支部への提出日です。期日は厳守してください。



十段位合格

第395回全国珠算教育連盟  
暗算検定試験(令和2年1月26日実施)

いわなり かい  
岩成 海

学校名

大阪府立四條畷高等学校3年



十段位合格

第395回全国珠算教育連盟  
珠算検定試験(令和2年1月26日実施)

なかに けんじろう  
中谷 謙士朗

学校名

泉大津市立浜小学校4年

令和2年そろばん年賀はがき当選番号

特賞 高級ツゲ玉そろばん

0403

1等 ベビーカステラメーカー

0676・1664・1821・2580・2770

2等 ひんやりフローズンデリカ(下3桁)

039・174・272・394・450

546・646・787・871・994

3等 ふせん付きメモ(下2桁)

03・16・27・34・42

55・67・71・88・92

★同時当選の場合は上位当選と致します。

★支部交換期間

令和2年4月28日(火)まで

主催 全国珠算教育連盟 大阪府支部

★ 本部会費・支部前期会費納入のお知らせ★

本部会費 1号会員 32,000円/年 2号会員 26,000円/年 3号会員 16,000円/年

支部会費 前期 30,000円 生徒安全会1教場につき 2,500円 納入締切日 令和2年6月12日(金)

編集後記

「おおさか」343号の発行にあたり、ご協力・ご助言を下さった諸先輩先生方に深く感謝申し上げます。

「未曾有の事態」とはこのことである。国内全域で、新型コロナウイルスの感染拡大が危惧されており、政府も学校の休校や大規模イベントの開催自粛を要請している。周知の通り、全珠連においても、本部・支部の行事が相次いで、中止・延期など「苦渋の決断」を強いられる状況である。塾運営にいたっても安全面を考慮して休塾期間を設けたり、地域の放課後児童対策の一面から、仕事に支障をきたす保護者様を考慮して、衛生面に留意しながら開塾されている先生方もおられます。それぞれの「苦渋の決断」の是非を問うのではなく、どれも、生徒たち・保護者様のことを一番に考えた「英断」であると思っています。

本来ならば、教室に新入生を迎え、笑顔が絶えない時期のはずが、先生・生徒たちも顔の大半をマスクで覆われ表情も読み取れず、どこか心苦しい日々を送っているのが現状です。

事態が終息に向かい、会員の皆様の笑顔が見られる日が早く来ることを、心よりお祈り申し上げます。(広報部)